

登録コード	HM125801	開講年度	2026			
授業題目	遺伝医学・予防医学特別研究				担当教員	稲葉 雄二 他
英文授業名	Research Thesis in Medical Genetics and Preventive Medicine				副担当	古庄 知己・長崎 啓祐
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加					
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				遺伝医学・小児・周産期・成育医学研究の様々な方法を説明し、遂行できるようになる	
(2)詳細 /Detailed information	遺伝医学・小児・周産期・成育医学研究の様々な方法について学ぶことを目的とする。					
(3)授業の概要 /Overview of course	(概要) 臨床的・基礎的な遺伝医学・小児・周産期・成育医学研究の様々な手法を学ぶ。 (稲葉雄二) 小児・周産期の様々な疾患や発達障がい領域における医学研究に関する指導を行う。 (古庄知己) 小児・周産期の様々な疾患を通じて、遺伝医学的手法を用いた研究に関する指導を行う。 (長崎啓祐) 小児・周産期の様々な疾患や成育医療領域における医学研究に関する指導を行う。					
(4)授業計画 /Course plan	前半で研究手法を学び、後半ではテーマを決めて実際の研究に取り組む。 定期的なセミナーでその進捗について報告・議論するとともに他の研究についても学び議論に加わる。					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究立案・遂行能力をレポートで評価する。評価基準は以下とする。 (1) 問題、CQの設定が適切であるか。 (2) その問題における背景と臨床的課題や関連する先行研究について説明できる。 (3) その課題解決に向けた方法の選択と実施が適切である。 (4) 得られた結果の取り扱いと解釈が適切である。 (5) 最終的に得られた結論と、今後の展望を説明できる。 上記について評価する。 5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。 3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	博士論文の基礎になる学習なので、他の業務の-effortも十分に管理して、積極的に取り組んでほしい。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メール (inabay@shinshu-u.ac.jp、ktomoki@shinshu-u.ac.jp、keisuke-nagasaki@nkodomo-hsp.jp) または、メールにより予約して面談する。					
(8)授業の形式 /Course format	定期的な面談、セミナーでの討論、およびメールにて行う。					